1 社会・治安情勢

- 来越する外国人観光客が増加する中、ハノイ市内の各観光地において、これらの観光客をターゲットとした犯罪の発生が増加している。
- 強盗、薬物、誘拐、人身売買など重大凶悪事件の発生や検挙に関するものや、インターネット等を利用した銃器の違法売買の事件摘発の報道がなされている。
- 当地の対日感情を損なう情報には特段接していない。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- ハノイ市統計局ホームページに掲載されている記事から、ハノイ市における犯罪発生状況、検挙状況等を抜粋したもの。

（2024年4月～6月実績。※（ ）内の数値は2024年1月～3月実績。）

【刑法犯関係】

ア 刑法犯発生件数 : 1,901件（1,614件）

イ 刑法犯検挙人数 : 1,874人（1,666人）

【交通事故関係】

ア 交通事故発生件数 : 420件（382件）

イ 交通事故死亡者数 : 164人（175人）

ウ 交通事故負傷者数 : 375人（313人）

- 邦人被害事案（主なもの）

在留邦人や邦人旅行者からは、スリや置き引きなどの窃盗を中心とした犯罪被害が多く寄せられており、その他マッサージ店における性被害の報告も受理している。

ホーチミン市内において邦人男性に対する殺人事件が発生しており、日常生活において安全確保に注意を払う必要がある。

3 銃器等使用の凶悪事件発生状況

昨年6月、ダクラク省において、銃で武装したグループが人民委員会庁舎等を襲撃し、警察官4名を含む死傷者を出す事件が発生した。（※同地域での衝突に伴う殺害事件としては、1993年に反共産党武装ゲリラ（FULRO（フルロ））による事件以来。）その後の捜査により、関係者が多数検挙されている。

4 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件の発生は認知していない。

5 誘拐（人身売買）・脅迫事件発生状況

昨年8月、ハノイ市内において7歳の男児に対する誘拐事案が発生したが、男児は無傷で救出され犯人は逮捕されている。（ハノイ市内の誘拐事件は過去19年で初めて）

6 日本企業の安全に係わる諸問題

日本企業に対する事件やストライキの発生（当館把握分）は認知していない。